

平成23年2月17日(木) 学術総合センター  
「名寄せのこれから～研究者IDサミット～」事例報告

# 作業用データベースを介した 著者同定

九州工業大学附属図書館  
情報管理係 徳安由希

# 本日の内容

- \* 本学リポジリの紹介
- \* リポジリ作業管理システム
  - \* 経緯
  - \* システム概要
  - \* 作業パターン
  - \* 著者同定
  - \* まとめ



“キューテイカー”

# Kyutacar

\*九州工業大学学術機関リポジトリ

Kyushu Institute of Technology Academic Repository

<http://ds.lib.kyutech.ac.jp/dspace/>

\*リポジトリシステム DSpace1.4.2

- \* H20.3.3 一般公開
- \* H20.8 業績DBとの連携開始
- \* H20.11 作業用システム開発・運用開始
- \* H23.3 作業用システム新規構築予定(外注)

# リポジトリ作業管理システム

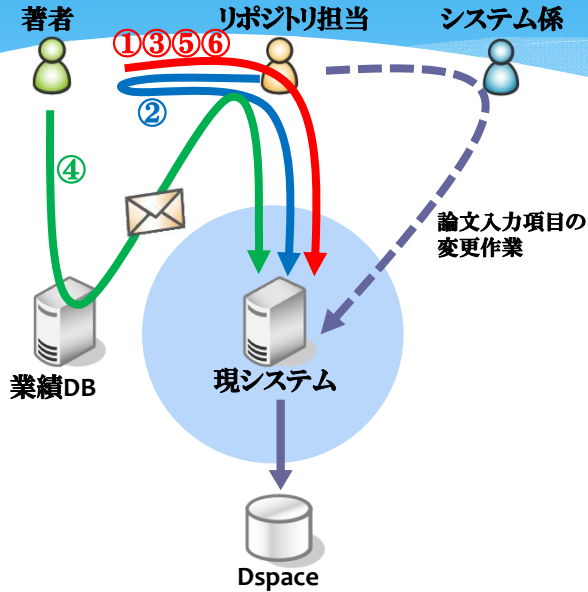
- \* = (現)リポジトリ連携システム
- \* H20.11 運用開始～自己開発より構築
  - \* 業績DBとの連携機能構築がきっかけ
  - 問題：保守体制が不安定、機能拡張が困難
- \* H22.12 業者に同システムの新規構築を発注
  - \* 業績DBのシステム変更がきっかけ
  - 改善：保守体制を確立、機能拡張を実現
- \* H23.3 構築完了予定
  - \* ただいま構築中！

# システム機能概要

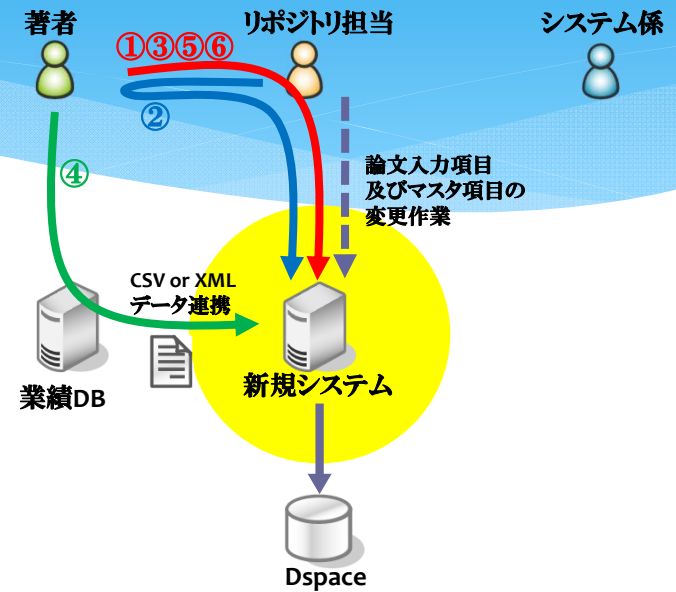
1. コンテンツの作業タスク管理 + 作業の効率化
2. 業績DBからの連携登録 + 連携強化
3. 論文個別・一括登録
4. 出版社、雑誌別の著作権許諾状況管理

# リポジトリ作業管理システム -システム全体構成-

【システム現構成】

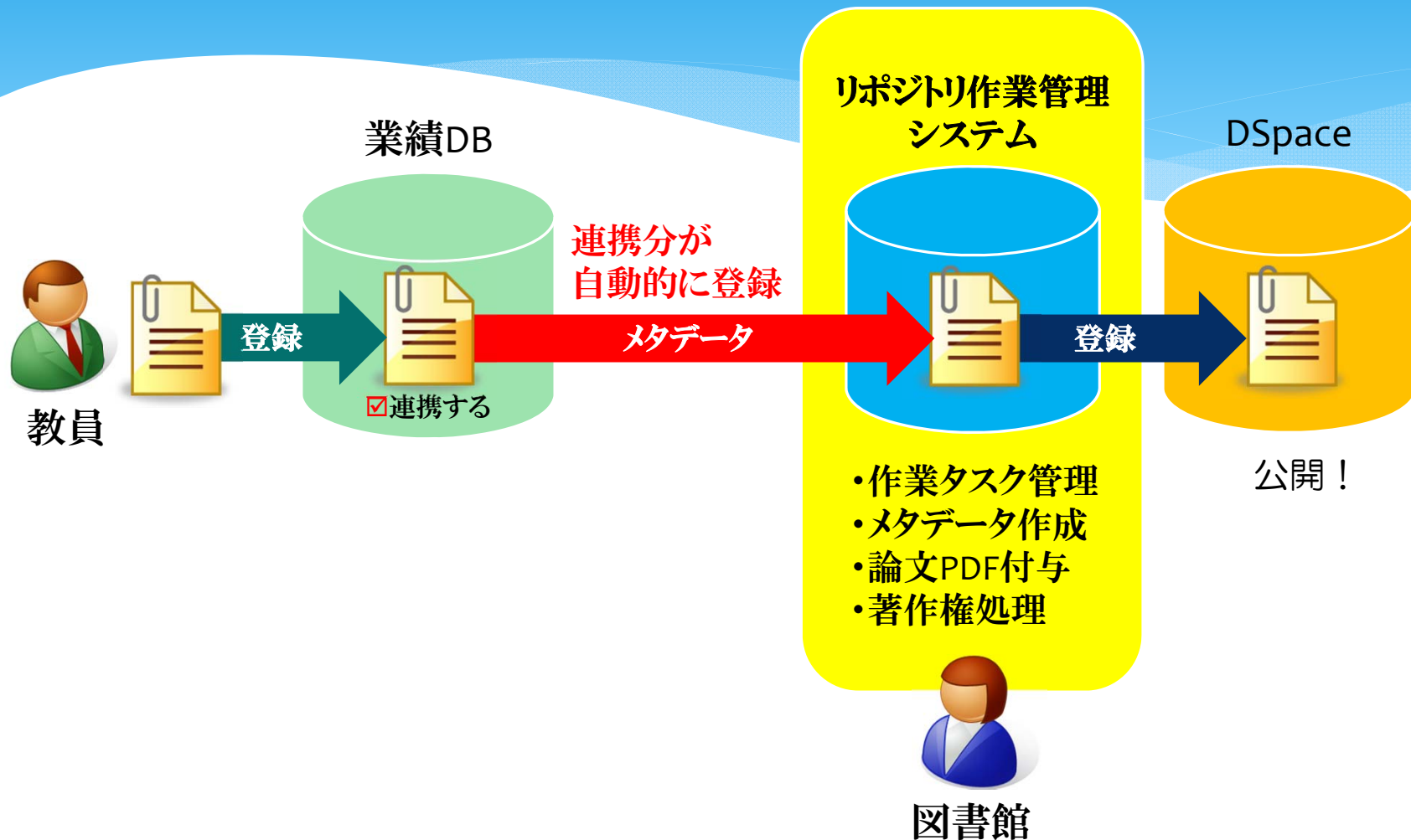


【システム新構成】

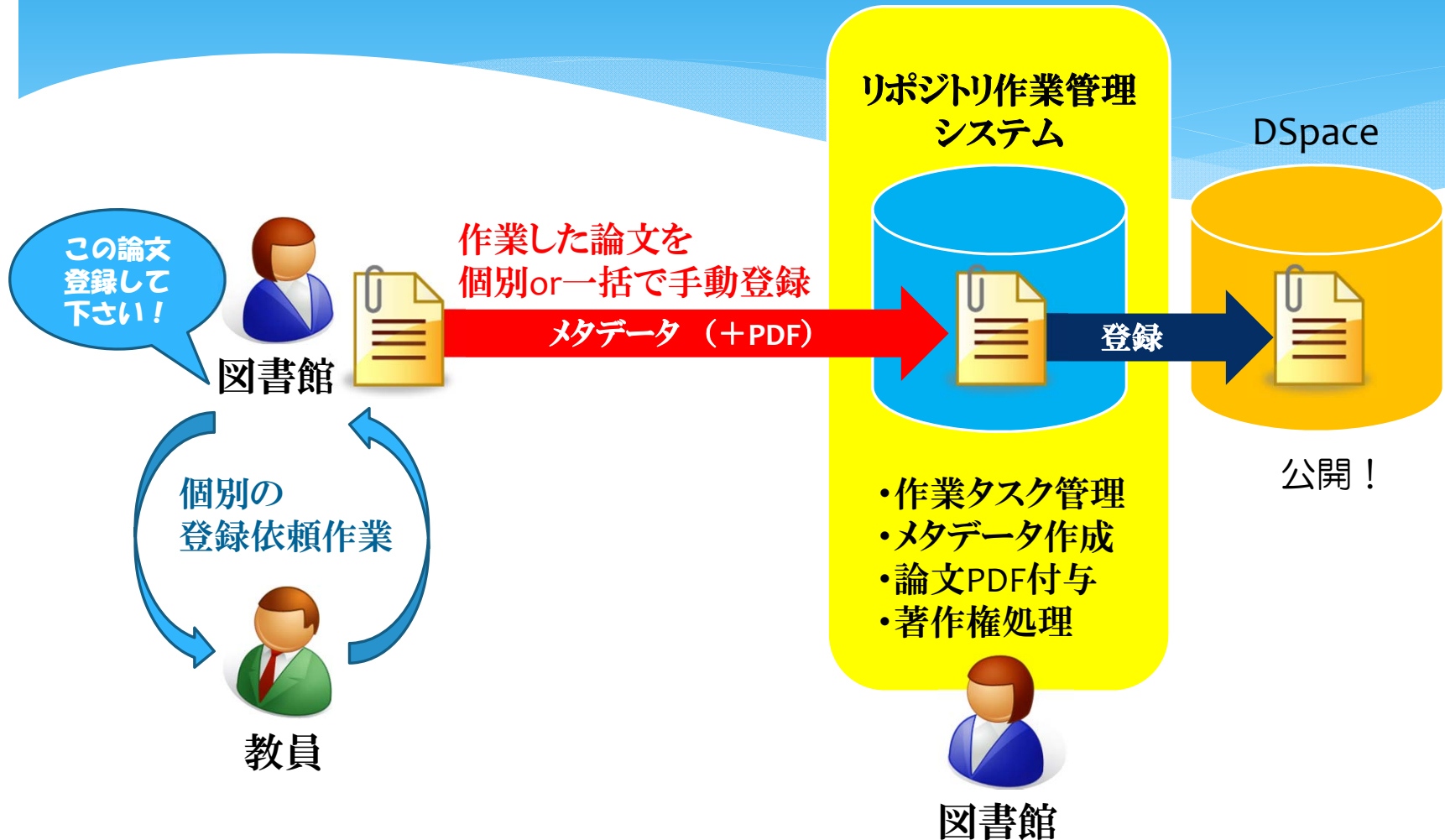


No.	作業パターン	流れ	備考
①	登録依頼	著者→図書館	メール/文書にて登録依頼後、入力作業。
②	登録依頼	図書館→著者→図書館	メール/文書にて登録依頼後、入力作業。
③	報告書内論文	図書館→著者→図書館	許諾を著者へ依頼。著者別にメール/文書にて、入力作業。科研など。
④	連携登録	著者→図書館	業績システムとの連携。自動的にリポジトリシステムに登録。初期ステータス。
⑤	許諾書依頼提出依頼	図書館→著者→図書館	③以外のもの。学位論文など。
⑥	自動的に登録(毎年作業)	図書館	九工大発行の論文で、許諾なしで登録。

# 作業パターン ①業績DBからの連携登録

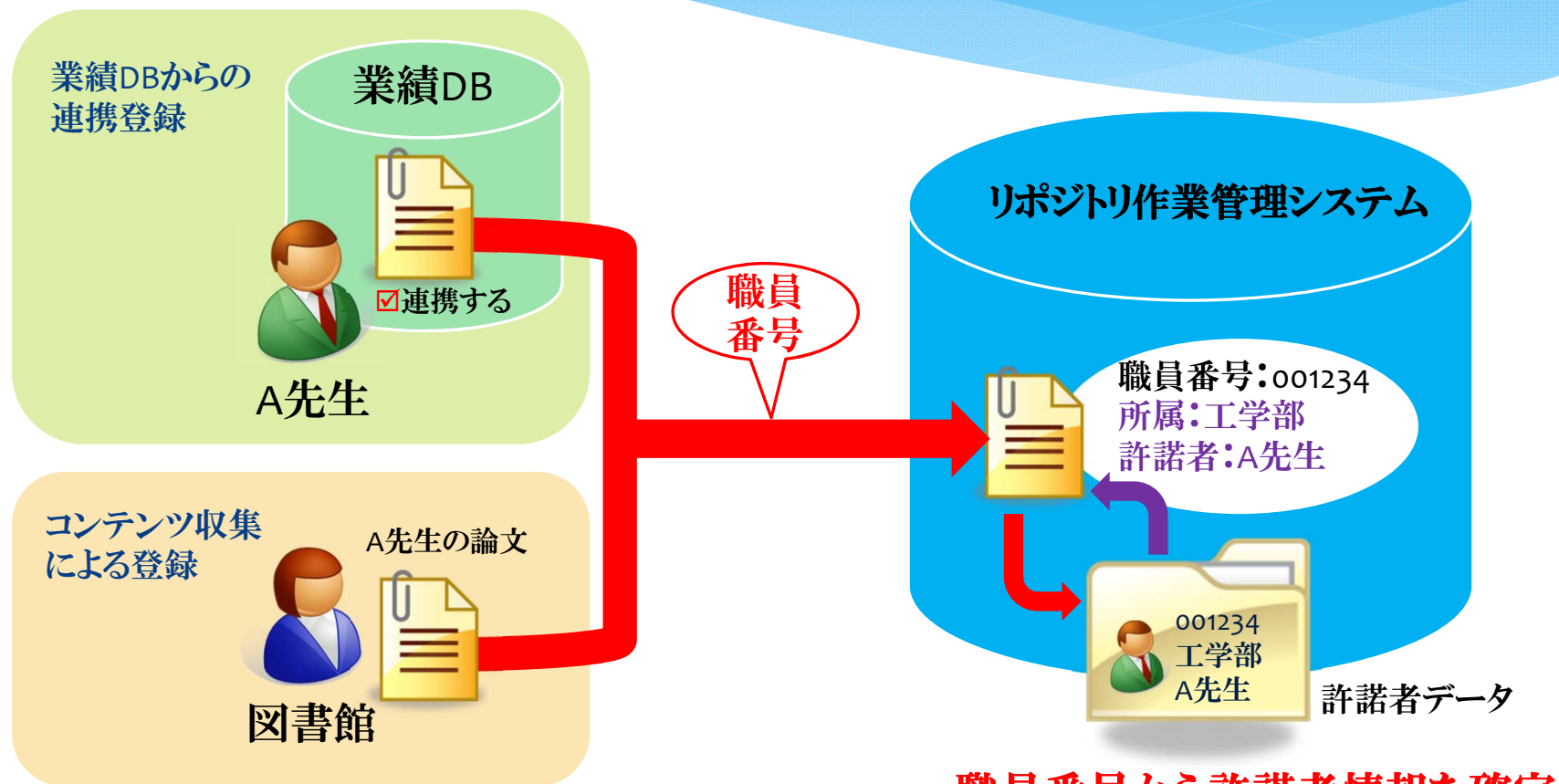


# 作業パターン②コンテンツ収集による登録



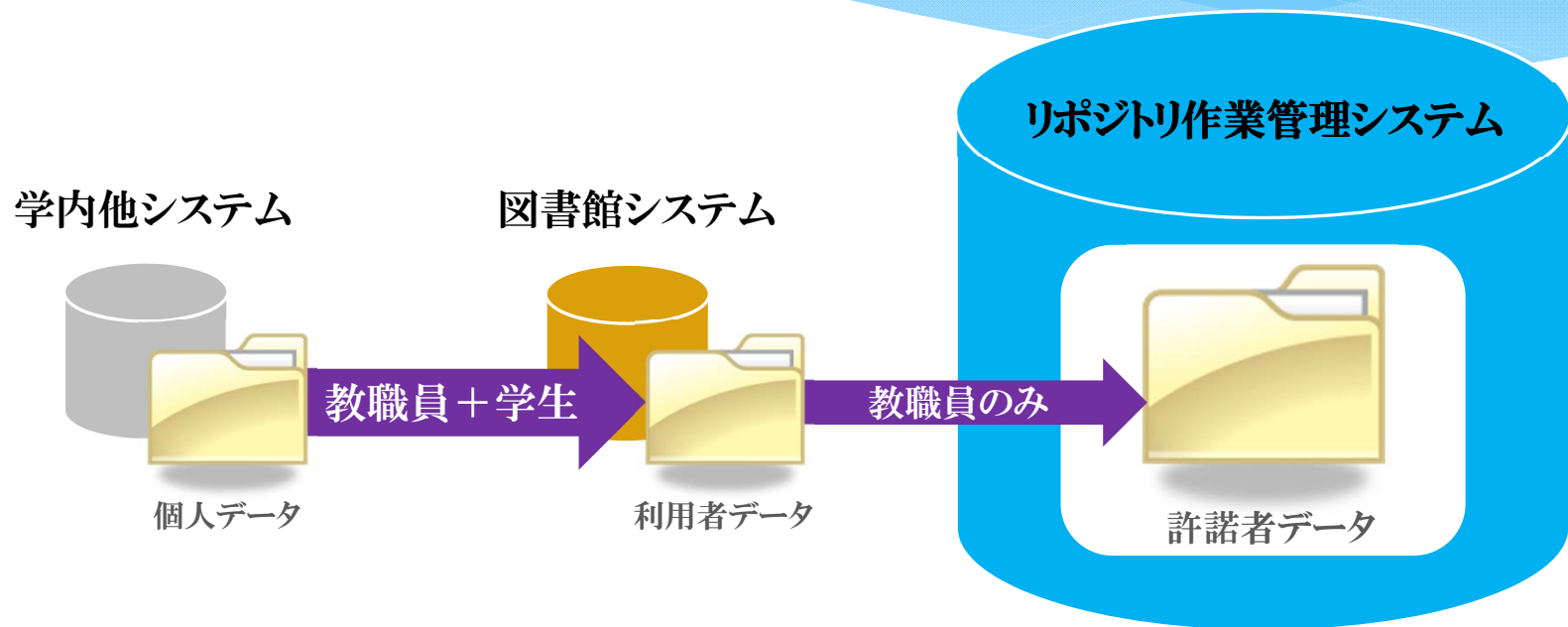


# 著者同定～著者ID



職員番号から許諾者情報を確定  
＝著者同定

# 著者同定～許諾者データ



- \* データは毎日更新
- \* 作業管理システムでは教職員データのみ管理

# 著者同定～用途

## リポジトリ作業管理システム



職員ID:001234  
所属:工学部  
許諾者:A先生



### A先生の作業論文一覧

- 「リポジトリシステムの構築」 作業中
- 「リテラシー教育の効果と実践」 登録完了
- 「図書館の発展」 登録不可
- ...

### ◎許諾者別に作業論文を管理

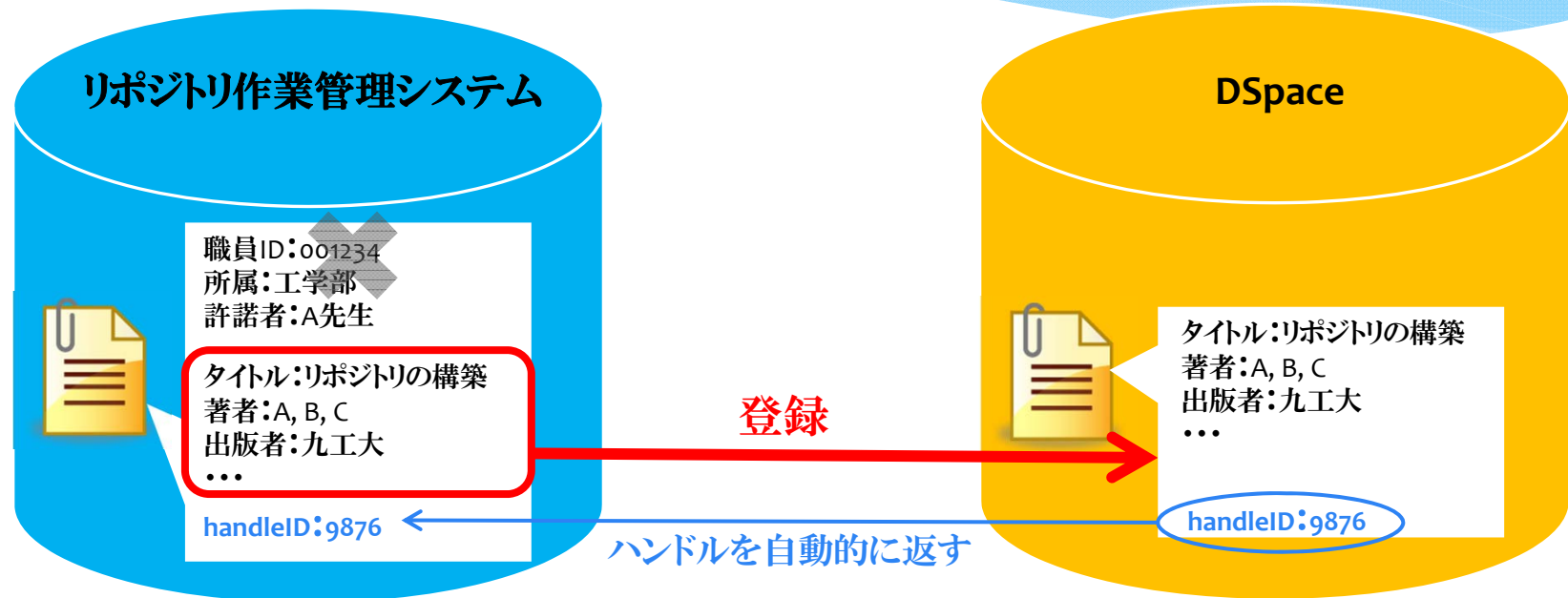
### 工学部所属教員の作業論文

- 作業中 ○件
- 登録完了 ○件
- 登録不可 ○件

### ◎所属別に作業論文件数を参照

など

# 著者同定～DSpaceとの連携



- \* DSpace上で著者(許諾者)同定はしていない
- \* 作業管理システム上では登録された論文のハンドルも管理

# まとめ

- \* 作業管理システムで職員番号を元に著者(=許諾者)を同定
- \* 許諾者別、所属別等で作業コンテンツを管理
- \* DSpace上で著者同定はせず
- \* 作業管理システムに全てのデータを集約

ご清聴ありがとうございました

九州工業大学附属図書館

リポジトリ担当

[kyutacar@jimu.kyutech.ac.jp](mailto:kyutacar@jimu.kyutech.ac.jp)